



◇ 新年を迎えて ◇

新年あけましておめでとうございます。令和6年（2024年）となり、今日からいよいよ3学期がスタートしました。今年は新年早々に能登半島で大きな地震が起きました。兵庫県でも震度4や3の揺れを感じた地域もあり、また北部では津波警報が出されるなどしました。今月17日は阪神淡路大震災から29年目を迎えます。災害への備えについては、日々心掛けていかなければならないところです。いざという時の対応（避難経路、避難場所）、物の準備（非常用の食料や水、転倒しそうな家具などの固定など）など改めて確認したいものです。学校でも1月17日に「1・17の集い」を行うとともに、今月は地震に係る防災教育を行っていく予定です。どうかご家庭でも地震への備え等について改めて話し合っていたいただければと思います。



さて、今年の干支は「辰（たつ）」。想像上の生き物ではありますが、天に向かって昇っていく姿にならない、目的をもって成長できる1年にしてほしいと思います。新たなことにもぜひ挑戦してほしいと思います。本年もどうぞよろしく願いいたします。

◇ 藍小学校との交流会（6年生） ◇

12月13日に6年生が藍小学校6年生と交流会を行いました。今回はつつじが丘小学校からバスと徒歩で出かけ藍小学校を訪問しました。プログラムは縄跳びの記録会や名刺交換、障害物リレー、鬼ごっこなどで交流を行いました。限られた時間ではありましたが、ともに声を掛け合ったり、同じチームで協力し合ったりしたことで、心の距離も近づいたように感じました。今月は19日に中学校の入学説明会が予定されています。再開が楽しみです。



名刺交換

◇ トトロんハッピーフェス ◇

2学期末の12月20日、全校生でトトロんフェスを開催しました。各クラスで考えた遊びの店に、他の学年の子たちを招き、互いに交流し合いました。おもてなしのためにと、どの学年の子たちも相手の学年の子たちが楽しめるようにと工夫を凝らしていました。どこに行っても笑顔があふれる楽しいひと時となりました。



ゲームの説明（1年→6年）

◇ わら細工づくり

12月13日、3年生がわら細工でリースやミニほうきづくりなどを行いました。今年度も地域の住吉クラブから講師に来ていただき、ご指導いただきました。ここまで住吉クラブの方には、田植えから稲刈り、精米に至るまでお世話になってきました。この日も講師の皆さんのお力添えにより、みんなお気に入りの作品を作ることができました。このように地域の方々との交流できることに感謝し、これからもつながりを大切にしていきたいと思っています。



リースづくり

1月の行事予定

日	曜	給食	学校（園）行事	月	曜	給食	学校（園）行事
1	月		元日	17	水	○	全校朝会（1・17の集い） S L T
2	火		年始休業日	18	木	○	ハニーFM（2年） E X A L T S C
3	水		年始休業日	19	金	○	藍中学校入学説明会（6年13:20～）
4	木		仕事始め	20	土		
5	金			21	日		
6	土			22	月		
7	日			23	火	○	S L T E X
8	月		成人の日	24	水	○	S L T
9	火	—	始業式 地区児童会 S L T E X	25	木	○	E X A L T
10	水	—	S L T	26	金	○	
11	木	○	E X S C 給食開始	27	土	○	
12	金	○		28	日		
13	土			29	月	○	代表委員会③
14	日			30	火	○	S L T E X
15	月	○	委員会活動⑤ 安全点検の日	31	水	○	S L T
16	火	○	S L T E X				

※SC…スクールカウンセラー、EX…外国語専科、ALT…外国語指導助手 S L T…学校司書

〈大谷翔平選手からグローブが届きました。〉

ニュース等でも話題になっていました、大谷翔平選手からグローブが1月4日に3個（右利き大・小1個ずつ、左利き用大1個）届きました。早速、始業式で子どもたちに紹介しました。グローブの取り扱いについては、まず、クラスごとに見て触ってもらい、そのあとの使い方については学校内で検討していきたいと考えています。



大谷選手のサイン入り

＜全国学力・学習状況調査結果の分析から＞

4月18日に6年生を対象に実施された「全国学力・学習状況調査」について、本校の結果を分析しました。その結果を持ち寄り藍中学校、藍小学校と合同分析も行い、中学校校区での課題について共通理解を図りました。その結果についてお知らせいたします。課題については、教職員間でも共有し授業改善につないでいきます。また、家庭での生活・学習習慣についても参考にさせていただきますようお願いいたします。(○：よくできている、●：課題が見られる)

【国語】

- 目的に応じ、話の内容を捉え、話し手の考えと比較しながら、自分の考えをまとめる設問では全国平均を大きく上回っていることから、目的をもって書く力が高まってきていることがうかがえました。
- 目的に応じて、文章と図表などを結び付けるなどして必要な情報を見付けることができるかどうかをみることに課題が見られました。

【算数】

- 加法と乗法の混合した整数の計算をしたり、分配法則を用いたりすることができるかどうかをみる設問や、高さが等しい三角形について、底辺と面積の関係を基に面積の大小を判断し、その理由を言葉や数を用いて記述できるかどうかをみるで、全国平均を大きく上回りました。
- 百分率で表された割合について理解しているかどうかをみる設問では、30%に当たる数量の関係を選ぶことにおいて「100人を基にした0.3人の割合」を選ぶなどの誤答があり、その理解について課題が見られました。

【質問紙調査】

- 「自分には、よいところがあると思いますか」や「将来の夢や目標を持っていますか」の項目で9割以上の児童が肯定的に答えていました。
- 「自分で計画を立てて勉強している」については、昨年度に引き続き課題が見られました。

【中学校校区での合同分析】

中学校校区3校での合同分析から次の点が共通課題及び取り組みの方向性としてまとめられました。

(1) 言語能力の確実な育成

- 読書をする時間を確保し、読書を通して語彙の習得や読解力をつける必要がある。
- 読み取った情報を正確に理解し、説明したり、文章に書いたりするなど適切に表現する力を育成する。

(2) 活用できる知識・技能の習得

○小学校では、算数・数学で計算のやり方を理解し、活用することができる。

○中学校では、数学の数式やデータなどを活用する力がついてきている。

- 理解を深め、活用できる知識や技能を身に付ける必要がある。

(3) 思考力・判断力・表現力の育成

- 得た情報を分析し、習得した知識を活用するなどして問題を解決する力を育成する。

(4) 学習習慣の確立

- 家庭で学習時間を確保し、計画的に学習を行う習慣を身に付ける必要がある。

- 計画的に読書に取り組む必要がある。

(5) 情報活用能力の育成

- 文章やグラフ、表などの情報を正しく読み取り、理解することに課題がある。

(6) ICT機器の活用

- タブレット端末のドリル機能などを活用し、個別最適な学びを進め、個々に合わせた学習の個別化や指導の個別化を進める。

- 発達段階に応じた情報モラル教育やタブレット端末の適切な利用を進める。